

救急法講演会

令和4年7月21日

夏休み1日目に校内救急法講演会を開催しました。前半は部活動各部の代表生徒、後半は職員対象にそれぞれ講演と実習を行いました。

講師は、明治国際医療大学 上久保 敦 教授にお願いしました。先生には、平成22年から毎年お世話になっています。コロナ感染予防や最近起こった銃撃事件の救急対応など、時機を得た講演内容でした。

学校は生徒の安全を守る、命を守ることを最優先させなければなりません。救急車が到着するまでにかかる時間は年々増加しており、約14分かかるとです。その間に、教員や周りに居るものが積極的に対応することで、命が救われます。1秒を争う判断と行動が必要と教わりました。心肺蘇生（胸骨圧迫、AED使用）を躊躇わないことを肝に銘じました。

講演は、あっという間に時間が過ぎ、生徒も職員も真剣な講習となりました。



テニスボールが写っていますが、これは
圧迫する力を実感するためのものです。
上から両手でテニスボールを押し、ボールが潰れるぐらいの力が必要です。
体重をかけて押さないと無理です。